

鹿行教育事務所だより 第7号

令和8年10月14日(水)

2次元コードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。



～ プラス1(いち) 積み重ね ～



初任研(小)における特別支援学校体験研修

10月7日(水)に茨城県立鹿島特別支援学校で、管内小学校の初任者を対象に、特別支援教育についての研修会を行いました。本研修会は、特別支援学校の教育そのものを学ぶだけでなく、「教師として児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するためには、どのようなことに留意する必要があるのかを体験的に学ぶ貴重な機会」として計画しました。

初任者は、小学部から高等部までの各クラスに一人ずつ配置され、担任の教師の指導助言を受けながら1日の学校生活を体験しました。初任者からの感想やアンケートからは、「ニーズに応じた支援の在り方が参考になった。」「子供が自分で考え、自分で判断できるように授業が考えられている。」などの声がありました。

「視覚的な支援」「構造化された学習環境」「ICT機器の活用」「コミュニケーション支援」「行動面への支援」等については、どの学級でも取り入れることが学級経営や授業づくりの幅を広げることにつながります。今回の研修の成果をぜひ日々の指導に生かしてほしいと思います。



○ 内藤教頭先生の講話から、学んだことを踏まえて、具体的な支援の在り方を自由に話し合っている初任者 (写真 左)

○ 本日の体験から学んだことや各自の課題をグループで協議し、鹿島特別支援学校の先生方からアドバイスを受けている初任者 (写真 右)

鹿行地区 科学研究作品展・発明工夫展

9月26日(土)、27日(日)の2日間、茨城県鹿行生涯学習センターにて「科学研究作品展・発明工夫展」を開催し、約200点の作品を公開いたしました。

科学研究作品展では、身近な疑問や不思議を基にそれぞれの視点で探究した作品が、発明工夫展では、生活をより便利にするアイデアを具現化した作品が多数出品されました。児童生徒の豊かな発想力と探究心の成果を、多くの方にご覧いただく機会となりました。

また、優秀な成績を収められた学校に贈られる「げんでん財団学校賞」には、『鹿嶋市立鹿島小学校』と『茨城県立鉾田第一高等学校附属中学校』が選ばれました。栄えある受賞、誠にありがとうございます。

出品にご協力いただいた各学校の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも児童生徒の科学への興味関心を高められるよう、引き続きお力添えを賜いますようお願い申し上げます。



第2回 管内指導主事等連絡協議会

10月1日(木)、鉾田市立旭中学校での授業参観(2年国語科)及び研究協議を実施しました。

研究協議では、「生徒が資質・能力を自覚する授業」をテーマに、指導主事・社会教育主事が授業者への効果的な助言案を検討し、タブレットでの情報共有やクロス協議を通して助言力の向上を図りました。また、指導主事分科会では、全国学力・学習状況調査算数(2(4))の課題分析を通じた指導法を共有しました。社会教育主事分科会では、県教育委員会より講師を招聘し、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」について協議を行いました。地域と学校の連携・協働における課題と向き合い、その解決に向けた実践的な力を高める機会となりました。

本協議会で得た成果を活かして、管内各小中学校への指導・助言を一層充実させ、先生方とともに児童生徒のよりよい成長を支えてまいります。

